※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報Ⅱ（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報科は，他の教科等の学びとあわせて，変化する社会で生きていくための資質・能力を育むものでなければならない。情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識や技能を身に着けよう。

2　学習の到達目標

・問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識を身に付け、実際に活用する力を養う。
・問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための技能を身に付け、実際に活用する力を養う。
・情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や，情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響，情報に関する法律・規則やマナー，個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し，情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や，問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し，その発展に起用しようとする態度を身に付けていること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（４月～５月）	情報社会	情報セキュリティ クラウドサービスの利用法と制度の整備	a:情報セキュリティの必要性と3要素について理解している。 c:情報セキュリティに関心を持ち，情報セキュリティに対する対策を講じようとしている。 b:情報セキュリティに関する法整備について情報セキュリティを判断しようとしている。	授業観察 定期考査	授業観察 定期考査	授業観察 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出
	データサイエンス	データの収集 データの整理と変換 データの分析と可視化	a:データ収集におけるバイアスの概念について理解している。 c:インターネットに公開されているデータに興味・関心を示している。 b:度数分布やヒストグラムをもとに実際のデータの特徴を説明することができる。	授業観察 定期考査	授業観察 定期考査	授業観察 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出
前期・後期（６月～１２月）	プログラミング言語	JavaScript の基礎	a:JavaScript のプログラムの文法を理解している。 a,b:簡単な構造のアルゴリズムを考えてプログラムを作成することができる。 b,c:プログラムを修正して，簡単なコンテンツを作成しようとしている。	授業観察 課題提出	授業観察 課題提出	授業観察 課題提出 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出
		Python の基礎	a:Python のプログラムの文法を理解している。	授業観察 課題提出	授業観察 課題提出	授業観察 課題提出 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出
後期（１２月～２月）	情報システム	情報システムの分類 情報システムの開発	b,c:情報システムの不具合が及ぼす影響を考え，評価指標を高めるための方法を考えられる。 a:情報システムを開発する際の順序を理解している。	授業観察 定期考査	授業観察 定期考査	授業観察 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出
		データベースの操作	a:表，行，列，選択，射影，結合，主キー，外部キーなどの項目について理解している。 b:与えられた操作に対して，どのような SQL を使用したらよいかを判断することができる。 c:コマンドラインを使って SQL を実行することに興味・関心を示し，意欲的に取り組んでいる。	授業観察 課題提出	授業観察 課題提出	授業観察 課題提出 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度